

'17.3.16

### 第34回研究助成金贈呈式

#### 矢崎科学技術振興財団

矢崎科学技術振興記念財団(尾崎護理事長)は9日、東京都・千代田区の日本工業倶楽部で「第34回研究助成金贈呈式」を開催。研究助成金15人、国際交流援助17人、特定研究助成金1人、矢崎学術賞1人に贈呈した。

1983年から科学技術の発展を目的として研究助成事業を行っており、今回も新材料、エネルギー、情報の3分野を対象として研究の独創性に重点を置いて選考した。

#### 「研究助成金」受領者

のうち一般研究助成には、稲垣恰史(横浜国立大学大学院工学研究機関の創生部門准教授の研究「リチウム―硫黄二次電池の高容量化のための多孔質炭素電極の調製」をはじめ5件を選出。奨励研究助成は10件に贈呈した。「国際交流援助」は国際的な学会で論文や共同研究発表をする際の渡航費を援助する。

「矢崎学術賞」の功績賞は該当者がなく、奨励賞を鈴木健仁(茨城大学工

学部電気電子工学科講師が受賞した。また、財団が特定したテーマにふさわしい研究を助成する

「特定研究助成」には、土屋智由(京都大学大学院工学研究科准教授(マイクロエンジニアリング専

攻)の研究「真空チノギヤップを用いた常温熱電子発電・冷却デバイス」が受賞した。